

令和6年度 第2回旭市部活動地域移行推進協議会 議事報告

1 期 日 令和6年8月1日(木) 開会 午後2時30分 閉会 午後4時30分

2 場 所 旭市役所本庁舎3階 政策決定室

3 出席者 加瀬 政美（旭市スポーツ協会副会長）
渡辺 弘巳（旭市スポーツ少年団本部長）
大橋 誠治（旭市スポーツ推進委員協議会）
篠原 瑠美（NPO 法人スポーツアカデミー）
相沢 弘幸（旭市文化協会事務局次長）
奥住 浩基（旭市立第一中学校長）
齊藤 実（旭市立第二中学校長）
大目 智志（旭市立海上中学校長）
岩波 浩之（旭市立飯岡中学校長）
柴山 浩恒（旭市立干潟中学校長）
岩瀬 忠久（旭市立第一中学校教諭・吹奏楽部顧問代表）
鷺海 俊之（旭市 PTA 連絡協議会顧問）
向後 依明（教育長）
向後 稔（教育総務課長）
臼倉 浩（教育総務課学校教育指導室長）
江波戸政和（生涯学習課長）
金杉 高春（スポーツ振興課長）
金谷 健二（教育総務課副課長）
浪川 真理（生涯学習課副課長）
遠藤 敏晴（スポーツ振興課副課長）

4 開会

・傍聴者 なし

5 会長あいさつ

・加瀬会長あいさつ

6 議題(協議事項)

- (1) 地域移行のためのモデル事業(ソフトテニス)に向けて
- (2) 教職員の兼職兼業申請方法について
- (3) R7 以降の地域移行に向けて(各校1部活で実施)
- (4) 今後の地域移行に向けて～運営のあり方について～

○配布資料に基づき、事務局より説明

(1) モデル事業実施に向けて(事務局・奥住委員)

- ・モデル事業実施団体AMOC(アモック)の受入規約について
- ・連絡方法「部活アプリ」について ～株式会社アスフィールによる紹介～
(県から推奨されているアプリ。R6・7は無料で旭市に提供。モデル事業で試行。)
→説明を受け、実施の方向。ただし、生徒が登録をするのではなく、保護者とのやり取りとする。
- ・モデル事業保護者説明会について 8月19日(月)18時～ @市役所1F 市民ホールにて
- ・加入する保険について (県から推奨されている「スポーツ安全保険」への加入を推奨する。)

(2) 教職員の兼職兼業申請方法について (申請書:クラブ→本人→校長→委員会)

- 1 依頼元や従事形態等について教員等の公務に対する信頼が確保されていること
- 2 勤務や部活動と実質的に区分けされていること
- 3 教員等の健康及び福祉の確保が図られていること
 - ・申請者の勤務状況から、時間外在校等時間と地域クラブ活動時間の合計が、単月100時間未満、複数月平均80時間以内となることが見込まれるか。
 - ・地域クラブ活動の従事によって、時間的、精神的又は、肉体的に公務員としての職責遂行に支障をきたすおそれがないか。
- 4 その他、学校業務の遂行に支障が出ないこと

※上記1～4の項目について、守ることができる者は、校長の許可を得て、兼職兼業ができる。
顧問のやりたいという気持ちが前提であること。

(3) R7以降の地域移行に向けて(各校1部活で実施) 各校の考えを確認。

- ・各校の「校内準備委員会」立ち上げ状況の確認
→海上中は、すでに準備委員会を立ち上げて話し合いを進めている。その他は今後立ち上げ予定。
- ・どの部活で実施していくか検討
→5つの中学校からの話を受けて、「陸上競技」を次の移行種目として動くことに決定。
ただし、人数が多いので、運営の仕方については今後協議が必要である。
- ・8・9月に部活動顧問会議を開き、アンケートに協力してほしい。

(4) 今後の地域移行に向けて～運営のあり方について～

- ・旭市に合った地域移行を考えているが、どの型がよいのか意見をいただきたい。

課題 ①実施主体をどう作るか。 ②指導者をどう確保するか。

(委員より)

- ・指導者の確保に向けて、幅広く考え、民間の地域スポーツクラブとも協議してみてもどうか。
- ・持続可能なものにしなければならない。地域のスポーツはどうなのか。子どもは何をやりたいのか。地域の雰囲気はどうなのか。先生頼りの地域移行ではいけない。スポーツ振興課、生涯学習課がリーダーシップを執ってやるのが理想では。
- ・例えば、市営コートの優先使用であるとか。旨味があれば、大人の団体であるスポーツ団体も中学生

受け入れを考えるだろう。

- ・受益者負担が増えると、クラブ活動としてやる子は減るだろう。
- ・教員の負担が減ることも狙いである。
- ・学校主管課と生涯学習課、スポーツ担当課の協力連携が軌道に乗っていない。学校主管課が孤軍奮闘している状況は良くない。すべての課が同じように汗をかかないといけない。令和 8 年度から休日の地域クラブ活動は、生涯学習課やスポーツ振興課が主管課となる。だからこそ、最初から関係するすべての課が協力しながら準備を進めていく必要がある。
- ・クラブとしての大会参加の約束事を各専門部に周知徹底していくことを改めて求めていく。
- ・A2型(委員会が主となり、新たな団体を立ち上げ実施主体とする移行の型)を目指すのであれば、コーディネーターなど人を増やしたり、再編室のような室を作っていないと運営できない。

8 質疑応答

9 参加者より一言

10 その他

- | | |
|------------|---------------------------------|
| ・次回会議日程 | 令和 6 年 11 月 18 日(月)午後2時 30 分から |
| ・次回会議の協議事項 | ①モデル事業 AMOC ソフトテニスの途中経過について(報告) |
| | ②R7 地域移行「陸上競技」に向けて |
| | ③旭市の地域移行について |

11 閉会